

第 102 回日本陸上競技選手権リレー競技大会

第 40 回北九州陸上カーニバル

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、北ゲート（100mスタート地点の外）付近に設ける。
- (2) 招集時刻は、プログラムの競技順序（招集時刻）記載のとおりとする。
トラック競技 競技開始35分前に開始し、20分前に完了する。
フィールド競技 競技開始60分前に開始し、50分前に完了する。
- (3) 招集の方法（手順）については、次の通りとする。
 - ① 競技者は出場種目の招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・競技用靴（スパイクのピン等）・衣類・持ち物（商標）等の点検を受ける。終了後そのまま待機し、招集完了後、競技者係の指示に従い移動する。トラック競技出場者のみ腰ナンバーカードを受け取る。
 - ② 携帯電話等、競技規則144条3（b）に関する機器を持ち込んでいないかの確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。但し、同時に2種目を兼ねて出場する競技者は、あらかじめ（1種目の招集時刻に）その旨を、TICに用意した「2種目同時出場届」に記入し、招集所へ提出する。
 - ④ 欠場をする競技者は、「欠場届」（TICに準備）を招集開始時刻までに招集所に提出する。
 - ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目に出場できない。
 - ⑥ リレー競技では、第1組の招集完了時刻1時間前までに、オーダー用紙を競技者係（招集所）に提出する。オーダー用紙は、TICに準備する。オーダー用紙の提出は、メンバー変更の有無にかかわらず予選・決勝共に提出する。
リレーのエントリー以外から、リレーに出場する場合は、オーダー用紙に出場種目とプログラム記載ページを記入する。

3 ナンバーカードについて

- (1) 日本選手権リレー及びU18男女混合4×400mRの競技者については、ナンバーカードは3枚配布する。（胸・背・手荷物）（競技規則143条7・8を遵守）他の競技者は2枚とする。
配布されたナンバーカードは、そのままの形で胸と背にはっきりと見えるように4ヶ所で付ける。但し、跳躍競技の競技者は、背又は、胸に付けるだけでもよい。
- (2) トラック競技者は、招集所で競技者係から渡されたレーンナンバーカード（腰）ナンバーカード）を右腰（2枚配布種目は左右の腰）のやや後方に付ける。
- (3) 日本選手権リレー及びU18男女混合4×400mRに出場する選手で、北九州陸上カー

ニバルの種目に出場する選手は、ナンバーカードが異なるので該当大会のナンバーカードを付ける。

4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の手配に従いミックスゾーン（100mフィニッシュ付近）を通り退場する。尚、決勝においては1～3位の競技者を入賞者控所に誘導する。

5 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- (2) トラック競技における決勝のレーン順については、番組編成掲示板（TIC付近）に掲示する。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定については、最終枠に同記録がある時の処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。（競技規則第167条2）

6 競技について

- (1) トラック競技について
 - ① レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ② トラック競技において、レーンを使用する種目については、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 - ③ 競技規則162条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
但し、小学生種目については、同一人が2回不正スタートをすると失格とする。
 - ④ 4×100mリレーの第2・3・4走者は、競技者係から渡されたマーカー用のテープのみを1カ所に置くことができる。レース終了後は、第1・2・3走者は自チームのテープを取り除く。
 - ⑤ 4×400mリレーの第3・4走者は、審判員の指示に従い、前走者が第2曲走路入り口を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、走り出すまで入れ替わることは認められない。
尚、バトンを渡した後の走者は、後続の走者の走路を妨害しないように注意する。
 - ⑥ リレー競走においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用する。
但し、シャツ・ショーツとも類似したものであれば許可する。
 - ⑦ 競技用靴については、競技規則第143条2、3、4、5、6による。
スパイクピンの長さは、走高跳・やり投は12mm以下、その他の競技は9mm以下とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
 - ⑧ スタート前に脱衣した衣類は、ビニール袋に入れ、競技役員が指示した場所に置く。レース終了後は、フィニッシュライン付近退場口（選手待機場）に運ばれた荷物を受け取り、確認の上、退場口から退場する。但し、4×100mリレー、中学女子1500m及び中学男子3000mについては、別途競技役員が指示する。
 - ⑨ A・Bレースで決勝を行う一般男女1000mは、Aレースは予選各組1着とタイム上位者4名、Bレースは、それ以外のタイム上位者8名とする。
U18男女混合4×400mリレー決勝については、予選タイムの上位16チームとし、上位8チームをA決勝、他をB決勝とする。

(2) フィールド競技について

- ① やり投・走幅跳・三段跳の計測は、光波距離計測器を使用する。
- ② 跳躍、及びやり投げの競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したもの、または承認したマーカーを 2 個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを 1 つだけサークルの外側に使用することができる。
- ③ 女子三段跳の踏切板は、砂場から 11m の地点に設置する。
- ④ 走高跳の練習及び競技中のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次のとおりとする。但し、気象条件等により変更することもある。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子走高跳	1.95 2.10	2.00	2.05	2.10	2.15	2.18	2.21	2.24	2.27	2cm
女子走高跳	1.60 1.70	1.63	1.66	1.69	1.72	1.75	1.78	1.81	1.84	2cm

- ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ⑥ フィールド競技の助言は、競技運営ならびに他の競技者の競技の妨げにならない範囲で、コーチングエリアに限り認める。競技場所に近接した観客席の一角に「コーチ席」を設ける。
 - ⑦ 中学生の走幅跳・砲丸投においては、計測ラインを設ける。
走幅跳：男子 5m00，女子 4m00 砲丸投：男子 7m00，女子 6m00
以下は、計測しない。
- (3) 競技者はビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。
- (4) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。（競技規則 1 4 4 条 3（b）・4）
- (5) 不適切な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は、イエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。

7 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具については、すべて主催者が用意したものを使用する。但し、個人所有の投てき器具（やり投用やりのみ）は認める。希望者は、持ち込む用具とともに「投てき用具検定申請書」を T I C に持参し、検査及び指示を受ける。受け付けた「投てき用具」については、「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後に、T I C で「預かり証」を確認のうえ返却する。
- (2) やりの検査は、T I C 横にて下記の時間帯で行う。
女子やり 第 1 日目 10 月 27 日（土） 8：00 ～ 8：45
男子やり 第 1 日目 10 月 27 日（土） 11：00 ～ 11：45

8 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は大型映像、およびアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第 1 4 6 条に定められている時間内（同

一日に次のラウンドが行われる場合にはアナウンス終了後15分以内、それ以外は、30分以内)に、競技者自身または代理人が、TIC担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(一万円)を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。

9 表彰について

- (1) 各種目の決勝で3位までの入賞者及びチームは表彰を行う。該当者は競技終了後、表彰者控え場所で待機する。表彰は、本競技場メインスタンド前の表彰ステージ(A)で行う。但し、小学生、中学生、高校生種目は、競技場正面玄関前の表彰ステージ(B)にて行う。

※ 選抜・育成リレー種目の表彰は行わない。

- (2) 各種目の1位から3位の競技者には、賞状とメダルを授与する。
尚、日本選手権リレー、及びU18男女混合4×400mRの4位から8位までに入賞した競技者には、その種目のアナウンスによる正式結果発表後30分を経過後からTICで賞状を渡す。
- (3) 一般男女100m、U18男女混合4×400mリレーは、Aレースを決勝とし、表彰する。

10 ドーピングコントロールテスト

- (1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。

日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。

尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートのコピーなどを持参すること。

- (2) TIC申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例(TUE)」の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ

(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認する。

- (3) 18歳未満の競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。

- ① 大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は、<http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf>からダウンロード出来る。

- ② 18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR(陸連医事代表)に提出すること。提出は未成年時に1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。

会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に

日本陸連事務局に原本を提出すること。

11 練習会場の使用について（練習会場注意事項）

- (1) ウォーミングアップ及び練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。尚、練習中に発生した疾病・傷病等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 練習に必要な用器具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。
- (3) 貴重品、荷物等は、個人が責任を持ち管理する。
- (4) 練習会場は、
 - ① 小学生、中学生、高校生種目に出場する競技者は、競技場東側（駐車場横）ウォーミングアップ場B（200mトラック）を使用する。
 - ② 日本選手権リレー、招待選手、グランプリ種目及び、一般競技種目に出場する競技者は、ウォーミングアップ場A及び本競技場等を使用する。（競技に支障のないエリア）練習会場及び使用日程は、練習会場使用日程表の通りとする。

12 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規定」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷病等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室は本競技場玄関側と芝生補助競技場との間に設ける。更衣室の使用は更衣のみの使用とし、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自の責任で行う。
- (6) 届けられた遺失物については、総合案内所で保管する。
- (7) 記録は、その都度発表するが、TIC横に設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、TICに500円を添えて申し込むこと。
- (9) メインスタンド及びバックスタンドでの横断幕・のぼりの掲示、固定を禁止する。（両サイドのスタンドでの掲示は認める。）
- (10) メインスタンドでの連呼による応援や通路に立ち止まっただの観戦を禁止する。
- (11) 競技者控え室について
 - ① グランプリ招待選手及び主催者招待選手は、本部棟内に控え所を設ける。
 - ② 日本選手権リレー、U18男女混合4×400mリレーに出場する競技者は、仮設テントを設ける。
 - ③ メインスタンド2階コンコース（通路）への控所設置（シート、テント等の場所取り）は認めない。
 - ④ メインスタンドでのテント設営は認めない。
 - ⑤ 各チームの控え所の設置については、テント設営可能エリアを確認し（野球場は設置可）、他団体への気配りをしつつ、安全に十分配慮して設置する。
- (12) IDについて
競技者及びコーチ（小学生・中学生・高校生種目出場者及びコーチを除く）には、受付時に大会主催者申し合わせ事項により、IDカードが渡される。コーチIDは、日本選手権リレー大会に出場するチームには、各チーム3枚を渡す。一般種目に参加する個人又はチームのコーチに1枚を渡す。ID使用者は、場内を移動する場合は

必ずIDカードを携帯すること。

小学生・中学生・高校生種目出場者の場内への入場は、ナンバーカードを通行証として確認する。

(13) 提出書類は次の通りとする。

	T I Cに準備する提出する用紙	提出場所	提出時刻
①	欠場届	招集所	招集開始時刻までに提出
②	2種目同時出場届	招集所	1種目の招集時に提出
③	投てき用具検査申請用紙	T I C	やり検査時間帯に提出
④	上訴申立書（預託金1万円）	担当総務員	競技規則146条7による
⑤	記録証明書	T I C	T I C閉鎖時刻まで
⑥	リレー種目オーダー用紙	招集所	招集完了1時間前まで

(14) 写真・ビデオ撮影について

競技場内の写真・ビデオ撮影については、選手のプライバシーや肖像権を保護するために、撮影は禁止する。大会関係者及び主催者に許可された者（報道関係者）は認める。但し、携帯電話やホームビデオでの撮影は認める。望遠レンズ機能等を備える高機能及び特殊カメラでの撮影は禁止する。違反の警告に従わない場合は、退場を勧告する。

(15) ナンバーカードとID・プログラムの配布については、次の時間帯に本競技場正面玄関前、受付テントで行う。

- ・28日（金）11：00～17：00
- ・27日（土）7：50～17：00
- ・28日（日）7：50～15：00

本城陸上競技場 投てき器具一覧

砲丸 7.260 kg（男子用）

番号	メーカー及び商品名	数量
1	NISHI F251 φ125.0mm	3
2	NISHI F251A φ120.0mm	3
3	NISHI F251C φ129.0mm	3
計		9

砲丸 4.000 kg（女子用）

番号	メーカー及び商品名	数量
1	NISHI F253A φ99.0mm	3
2	NISHI F253C φ109.0mm	3
3	NISHI F253 φ103.0mm	3
計		9

やり 800g (男子用)

番号	メーカー及び商品名	数量
1	NISHI F453E スーパー	2
2	NISHI F453C スーパー	2
3	NISHI F454E ロング	1
4	NISHI F455E ミディアム	1
計		6

やり 600g (女子用)

番号	メーカー及び商品名	数量
1	NISHI F463C スーパー	5
2	NISHI F464E ロング	4
3	NISHI F465E ミディアム	3
計		12

練習会場使用日程表

	10月26日 (金)	10月27日 (土)	10月28日 (日)
本競技場 (400m公認2種全天候型)	11:00~17:00 トラック・ハードル 走高跳・走幅跳・三段跳・やり投・砲丸投(準備作業に支障のない限り。)	7:30~8:45 トラック・ハードル *大会開催中も競技に支障が無い限り、バックストレートの走路は使用可。(ハードル・スタブプロ使用は不可)	7:30~8:45 トラック・ハードル 同左
ウォーミングアップ場A (6レーン直走路、走幅跳・三段跳の助走路、砂場)	11:00~17:00 トラック・ハードル 走幅跳・三段跳	7:30~17:00 トラック・ハードル 走幅跳・三段跳	7:30~17:00 トラック・ハードル
九州共立大学 陸上競技場 (400m公認3種全天候型)	13:00~17:00 トラック・ハードル 走高跳・走幅跳・三段跳やり投・砲丸投	10:00~16:00 トラック・ハードル 走高跳・砲丸投 九州共立大学グランド 北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8 車で15分	
ウォーミングアップ場B (1周200m) 全天候型		小学生、中学生、高校生が使用	中学生、高校生が使用